

第 1 号

本小の教育「授業研修会」

6 年特設

◦インクルシブ教育「特設◦脳の引き出し」

本年度の公開授業トップバッターは、特別支援教育コーディネーターの「河津さゆり」先生です。まずは、6年3組（澤岷逸子先生）にて、『特別支援教育・脳の引き出し』の特設授業を行いました。6校時に、6年2組（山城江里花先生）でも実施しました。さゆり先生の今回の6年生の授業テーマは、「対話」を通して、友達の脳の引き出しを1つでも多く開くことにあります。難しい事を易しく、易しい事を楽しく、しかも楽しい事を深くする、そんな授業を追究したものでした。インクルシブ教育の重要性を再確認できた提案授業でした。有難う！

■ 6年3組（特設）「河津 さゆり（澤岷 逸子）」先生 5校時目



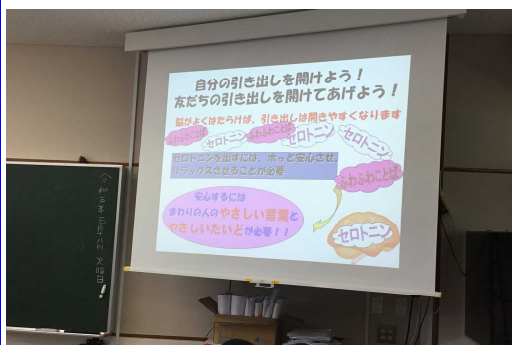
【児童の手(学習規律)】



【教室の色(支持的風土)】



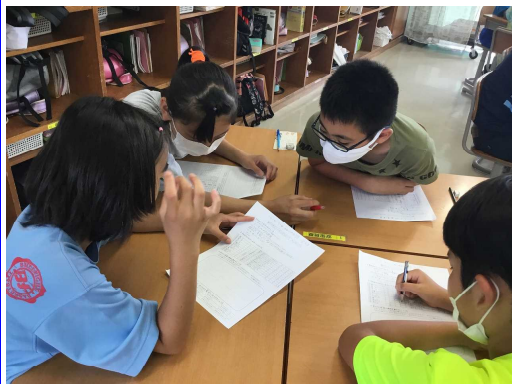
【教師の眼(教師の姿勢)】



■■「本日の学習の大まかな流れ」■■
[始め] 黙想！良い姿勢！授業の初まり。
[導入] 約束ごと。口は閉じて挙手する
[展開] 既習事項。セロトニン、全員OK！
・心理学、だまし絵「シマウマ」
・学習に関する「脳の引き出し」
・感情に関する「脳の引き出し」
・引き出しのあき具合3，2，1，0
・嬉しい言葉「フワフワ言葉」
・大きなハート → 「セロトニン」が
[終末] 本日の振り返りを行う
（振り返り）逸子先生からの一言も
（あ）終わりの挨拶。（けじめ良）

【安心・所属・承認】 気持ちを持たせる

- ・「引き出しの開き具合、3でも、2でも、1でも、0でも、いいんだよ。」
- ・「みんな違ってても、いいんだよ。」
- ・「答えてくれて、ありがとうね。」
- ・「しー、声に出さないで、手を上げるんだよ。」（自ら挙手の手本を見せる）
- ・「凄いいえー、凄ーい。」（溢れる笑顔）
- ・創雲君が「だまし絵」を指し説明する！



【感想】 「脳の引き出し」、特別支援に関する大切な「特設授業」でした。本当に有難うございました。♥

- 本日は、「女優・さゆり」もやや緊張気味。6年生の「学習規律」「支持的風土」「対話的深い学び」に。
- 脳と心の問題を、具体物（K付き収納棚の引き出し）の開き具合で示して、分かり易く、理解させた。
- 脳の引き出しの授業は、これまでも数回観ているが、授業者（演者）で、こうも違うものなのか！
- 自己肯定感のみでなく、共感的他者理解、自己・他者共に存在価値などにも広く繋がっていくものだ。
- 特別支援教育に、インクルシブ教育に必要不可欠であり、本校の児童達には欠かせない授業である。
- 今回の授業「教師力」も良かったが、「6学年の学級経営」が輝いた支持的風土のある授業であった。



校長より